

港南区では、福祉保健活動団体の代表者による意見交換会、福祉保健施設、福祉保健活動者等を対象にしたアンケートなどをもとに、港南区地域福祉保健計画策定・推進委員会で2年間をかけて、全体計画の内容を議論してきました。

全体計画では、「一人ひとりがつながり、お互いに支えあえるまちをつくる」ために8つのテーマを定めました。

各テーマごとにまちの将来像を定め、その実現に向けて個人、活動団体等、地域ケアプラザ等、区社会福祉協議会、区役所が、どのような取組を期待されているのか、また、どのような取組を進めていくのかをまとめています。

計画の推進にあたっては、それぞれが協力して取り組んでいくことが必要です。

「港南区地域福祉保健計画策定・推進委員会とは」

港南区の福祉、保健、医療等の連携強化を図り、地域における総合的な福祉保健サービスを充実させ、円滑に実施していくことを目的に、「港南区地域福祉保健推進会議」が設置されています。

福祉保健サービスの中で、特に地域福祉保健計画の推進について議論を行う場として、「港南区地域福祉保健計画策定・推進委員会」が設置されています。

区内の医師会、連合町内会、自治会町内会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保健活動推進員などの福祉保健活動団体の代表者や学識経験者等により構成されており、今回の計画策定も区民のみなさんや福祉保健活動者の意見を踏まえながら、進めてきました。



地域福祉保健計画に分野別・対象者別の取組は必要か？



地域福祉保健計画は、健康づくり、高齢者、障害児・者、子育て支援・青少年育成等の分野・対象者別の支援方法を考えるのではなく、地域の中で支援が必要な人を支えるためにはどのような取組が必要かを示すものです。

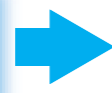
しかし、現実には、「健康づくり活動の参加者が限られている」、「家族による支援のみでは限界がある」、「障害児・者に対する理解が進んでいない」、「地域から孤立している子育て中の保護者が増加している」などという声も聞こえてきます。

そこで、地域でのつながりづくりや支えあえる関係づくりに必要な取組をまとめると共に、「健康づくり」、「高齢者支援」「障害児・者支援」「子育て支援・次世代育成」といった分野・対象者別のテーマに対しても、地域としてどのような取組が必要かということをはっきりとしていきます。

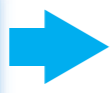
1 全体計画のテーマ一覧

●目標● 一人ひとりがつながり、お互いに支えあえるまちをつくる

地域のことを
知って



地域の中で
つながりあって



みんなで協力し
支えあう

地域全体のテーマ

テーマ1

活動の周知・情報共有

情報を手にして新たな一歩!
必要な人に情報が伝わるまち

テーマ2

活動のネットワークづくり

活動者、支援者がつながり、
みんなで地域を支えるまち

テーマ3

担い手・人材の発掘

住民一人ひとりが当事者意識を
持ち、誰もが力を発揮できるまち

テーマ4

地域のつながり・交流の場づくり

日頃の声かけから!顔の見える
関係でお互いに支えあえるまち

分野・対象者別のテーマ

テーマ5

健康づくり

あらゆる世代の人々が、地域の仲間
と共によりいき活動できるまち

テーマ6

地域で高齢者の支援

一人ひとりがいきいきと住み慣れた
地域で安心して暮らせるまち

テーマ7

地域で障害児・者の支援

障害のあるなしに関わらず、地域で
支えあうことができるまち

テーマ8

地域で子育て支援・青少年育成

地域の人々がつながり、子どもや
青少年を育てあえるまち

2 全体計画(21~36ページ)の見かた

左ページ

テーマ:

これまで

テーマに関する、現状や
課題をまとめています。今
までどんな取組が行われ、何が
問題となっているのかを示して
います。

福祉保健活動団体の代表者による意見交
換会や団体・事業者に対するアンケート等
で寄せられた生の声を掲載しています。

これから

課題やこれまでの取組を
踏まえ、今後どのような取
組が必要かをまとめています。区
全体としての取組の方向性を示
しています。

まちの将来像

計画の取組主体が協力しあって目指すべ
きまちの将来像を示しています。

右ページ

計画実現のためにめざす方向性は!

個人

活動団体
等

地域ケア
プラザ等

区社会福祉
協議会

区役所

区全体での取組の方向性に対し、計画の
取組主体である「個人」、「活動団体等」、
「地域ケアプラザ・地域包括支援センター」、
「区社会福祉協議会」、「区役所」がどのよ
うな活動を期待されているか、どのような
取組を進めていくかを示しています。

地域活動の取組紹介

地域で様々な団体が協力しあって行われ
ている活動等を紹介しています。

ぜひ、各テーマの取組を見て、自分なら何ができるか、他の人や団体等とどのように
協力できるかなど、考えてみてください。

一人ひとりの取組がつながることにより、福祉保健活動が一層推進されます。

計画の主体は、すべての人です。みんなで考え、取り組むことが地域福祉保健計画
の目的です。

テーマ1

活動の周知・情報共有

これまで

様々な広報活動が行われているのに、必要な情報が伝わっていない!

行政機関、各団体が発行する広報紙・町の掲示板などが情報の伝達や収集の場として利用されています。

また、インターネットを活用した情報発信など、広報手段はより充実したものになっています。

一方で、港南区内では、個人や団体などによる様々な活動が行われていますが、「その活動の内容が知られていない」、「相談したいことがあるけど、どこに相談してよいかわからない」など、情報が必要な人に届いていない状況も見受けられます。

伝えたい相手の視点に立ち、わかりやすい情報発信を積極的に行っていくことが求められています。

回覧物が多くて、
どれが自分に必要な情報が
わからない!



これから

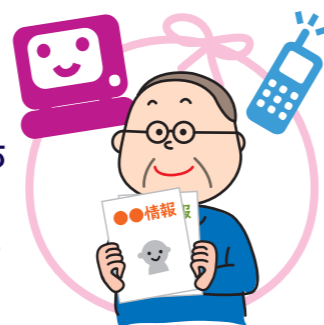
情報を手にして新たな一歩! 必要な人に情報が伝わるまち

自分の地域のことを知りたいとき、困ったとき、何かを始めたいとき、必要になるのは情報です。様々な活動が行われている港南区、それぞれの活動が連携することで更に大きな力を生み出します。一つひとつの情報が人や活動を結びつける、活気あるまちづくりを進めます。

～まちの将来像～

- 様々な広報手段を通じて、地域の情報、各団体の活動内容、福祉保健情報が情報を必要とする人に伝わるまち
- 人から人へ、つながりを活かした情報の伝達が充実するとともに、支援が必要な人の把握などにもつながっているまち
- 様々な情報が地域で共有されることにより、新たな参加者の増加や各活動の充実につながっているまち

顔の見える関係からの
情報伝達も必要だね!



計画実現のためにめざす方向性は!

個人

- 一人ひとりが身近な地域の情報や福祉保健活動に関心を高め、その情報を周りの人に伝え、できる範囲で活動に参加しましょう。
- 自らが求める情報を積極的に発信しましょう。

活動団体等

- 広報紙、自治会町内会の回覧や掲示板、ホームページの活用など様々な手段で情報発信を進め、必要な人に必要な情報を届けます。
- 他の団体との情報共有を進め、活動の連携を図ります。

取組 広報紙、ホームページ、自治会町内会の掲示板の活用、「こうなんまっぷっふ」の発行 等

地域ケアプラザ等

- 地域の身近な相談場所、情報の発信拠点として福祉保健サービスに関する情報を提供します。また、福祉保健活動者以外の住民を加えた話し合いや情報交換の場を通し、福祉保健活動のきっかけづくりを支援します。
- 地域で行われているイベントに出向き、地域のみなさんとコミュニケーションを図りながら、地域情報や福祉保健情報を共有していきます。

取組 広報紙やホームページでの情報発信、出張相談・出前講座、地域活動への参加・支援 等

区社会福祉協議会

- 地域の福祉保健活動やイベントの情報をタウン紙やホームページにより広く区民に情報提供し、活動参加のきっかけづくりを支援します。
- 区内外から寄せられる情報を整理し、福祉保健活動拠点の利用者やボランティア活動をしたい人に情報コーナーを常設して提供します。

取組 社協だよりこうなんの発行、ホームページの運営、ボランティアニーズ(活動場所の紹介等)の発信、ボランティアセンター運営、タウン紙による地域活動紹介 等

区役所

- 伝えたい人に合わせて情報発信の方法を工夫し、福祉保健に関する情報や地域の活動情報などを区民に伝えていきます。
- 活動団体の情報発信の取組、地域を越えた活動や団体同士の交流のきっかけづくりを支援します。
- 地域福祉保健計画や地域の自主的な活動を広く周知し、共有することで、新たな参加者の増加につなげていきます。

取組 広報紙、ホームページなどを活用した情報提供、地域福祉保健計画推進フォーラムの開催、高齢者福祉保健ガイドの発行 等

取組紹介

地域の情報が詰まっています!! ～様々な広報紙の発行～

みなさんがお住まいの自治会町内会、地区社会福祉協議会をはじめとした様々な団体が広報紙を発行しています。地域のお祭りをはじめとした行事や委嘱委員の活動紹介など地域のことを少しでも多くの人に知ってもらうために、地域の方が工夫を凝らして作成しています。広報紙には、地域を知ることができる宝がたくさん詰まっています。インターネットを使用した広報が進んでいますが、様々な思いが詰まった広報紙もまだまだ大切ですよ。ぜひ、手にとって、地域の活動を感じてください!!



テーマ2

活動のネットワークづくり

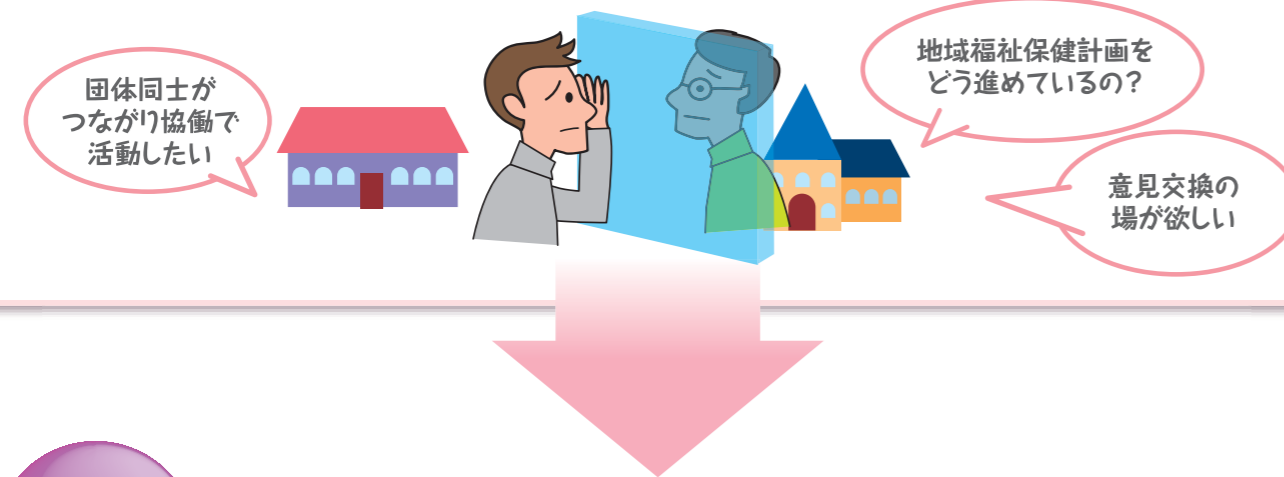
これまで

福祉保健活動はたくさんあるけど、情報交換や交流の場が少ない

港南区では、自治会町内会、民生委員・児童委員、主任児童委員、保健活動推進員、シルバークラブをはじめ、数多くの団体が「高齢者の見守り活動や子育て支援、健康づくり・生きがい活動、安心なまちづくり活動」などを支えています。

同じ地域の中で、様々な活動が行われている一方で、「団体同士が交流できる機会が少ない」、「お互いの活動内容や役割を知る機会が欲しい」といった声もあがっています。

地域の福祉保健活動を推進するためにも、地域住民や各団体のメンバーが参加できる情報交換の場や交流できるネットワークを充実させていくことが必要となっています。



これから

活動者、支援者がつながり、みんなで地域を支えるまち

多様化・複雑化する地域の生活課題を解決するために、地域・活動団体・行政機関などが、お互いの活動を理解し合い、活動目標を共有できる関係づくりを進めます。

～まちの将来像～

- 様々な活動団体が情報交換・意見交換を行い、それぞれの特性や役割を活かした活動がしやすいまち
- 地域の課題に共に取り組めるネットワークができるまち
- ネットワークが、地域でのつながりや支えあいの仕組みづくりに大きな力を発揮するまち



計画実現のためにめざす方向性は!

個人

- 身近な地域で行われている行事や活動に参加・協力しましょう。

活動団体等

- 活動団体の目的や役割を互いに理解し、身近な地域で共に福祉保健活動を進めていきます。
- 地域で支援を必要とする人に、活動者が連携して支援していきます。

取組 地域福祉保健計画推進活動や地域支えあいネットワークの支援、地域活動発表会、情報交換会 等

地域ケアプラザ等

- 住民、地域活動関係者、地域の様々な施設などがつながりを持ち、地域の課題解決のために検討し具体的活動ができるように支援します。活動団体の情報や課題を把握し、団体間をつなぐコーディネートや相談に応じます。
- 地域福祉保健の活動者や、あらゆる世代が参加できる場をつくります。

取組 地域福祉保健計画推進活動や地域支えあいネットワークの支援 等

区社会福祉協議会

- 活動団体の交流を通して情報を共有し、活動のジャンルを超えた連携の仕組みづくりを進めます。
- 地域で活躍するボランティアの情報が地区社会福祉協議会に届く仕組みをつくります。
- 地域の活動にボランティアの参加を呼びかけ、活動を活性化するための支援を行います。

取組 合同分科会、会員意見交換会、福祉ネットワーク事業 等

区役所

- 地域の活動団体がより活動しやすくなるよう情報共有やネットワークづくりを支援します。
- 地区別計画推進に継続的に取り組めるよう、福祉保健活動や各種活動団体の交流・情報交換が行えるよう支援します。
- 地域に住むあらゆる世代の人が、行事や活動に参加できるよう支援します。

取組 地域活動発表会、活動団体交流会・意見交換会、地区別計画推進連絡会(仮称)、区民活動支援センター・区民利用施設等連絡会 等

取組紹介

ひざり「いきいき幸せプラン」街づくりワイワイトーク

「ひざり地区地域福祉保健計画」をみなさんに知ってもらい、共に推進するために、地区社会福祉協議会が事務局となり様々な取組をすすめています。その取組の一つ「ワイワイトーク」では、地域の活動団体の情報提供や活動紹介、テーマ別のグループによる自由意見交換を行うなどプラン実現の原動力となっています。



テーマ3

担い手・人材の発掘

これまで

活動の担い手が高齢化・固定化、このままでは活動が続かない!

港南区では、地域活動や福祉保健活動、ボランティア活動など様々な活動が行われています。しかし、その活動を支える人の固定化や高齢化が進んでおり、活動の停滞が見られたり、継続が困難視されたりしている活動もあります。今後、活動を継続・充実させていくためには、活動を支える人の負担を軽減するとともに、新たな人に参加してもらうことが必要となってきます。また、地域活動に興味はあるものの参加のきっかけがつかめない人や働き盛りの世代にも「忙しいから参加しない」ではなく「可能な範囲で活動に参加する」という環境をつくっていく必要があります。

「もっと主体的な参加者」になって欲しい!

活動者・ボランティアが高齢化している

若い世代にできる範囲でもっと参加して欲しい



これから

住民一人ひとりが当事者意識を持ち、誰もが力を発揮できるまち

地域で行われている様々な活動は、住民一人ひとりが当事者意識をもつことで継続・発展していきます。

誰もが参加できる土壌のある港南区、一人ひとりが持つ小さなキラリを発揮できるようなまちづくりを進めます。

～まちの将来像～

- 一人ひとりが得意なことやできることに可能な範囲で取り組めるまち
- 新たに活動に携わろうとする人が居場所と役割を確保できるまち
- 参加するだけでなく、自ら企画する楽しさ・魅力を感じられるようなイベントが数多く行われているまち

ちょっとした得意が地域の力に!



計画実現のためにめざす方向性は!

個人

- 趣味や特技を地域での活動に活かしましょう。
- 一人ひとりができることを地域に提供していきましょう。

活動団体等

- 多くの人気軽に参加し関心を持てるような地域活動・行事などを行うことで、新たな担い手の発掘を進めます。
- 各団体の活動を地域全体で支援していきます。

取組

地域福祉保健計画推進活動や地域支えあいネットワークの支援、お祭り、運動会等の地域のイベント、地域の交流会 等

地域ケアプラザ等

- 高齢者から子どもまで、誰もが地域の担い手として自分の趣味や特技を発揮できる場の提供を行います。
- 個人・グループのボランティアのネットワークづくりや新たな情報の提供を通し、活動が継続できるよう支援します。

取組

地域や世代のニーズに応じた各種講座、誰もが楽しく共に学べる講座(ボランティア養成講座、サポーター養成講座) 等

区社会福祉協議会

- 区内のボランティアグループや地域ケアプラザなどの福祉施設と協働で様々な講座を開催し、新たな担い手の発掘と育成を進めます。
- 地域活動の担い手のスキルアップやフォローアップ研修などを行います。
- 区内で行われる様々な福祉保健活動に助成し活動を支援します。

取組

各種ボランティア講座、こうなんふれあい助成金、セカンドライフ大学校 等

区役所

- 区民活動支援センター等を通じて、地域活動に関する情報を提供します。
- 地域活動や福祉保健活動の助成等を通し、担い手を支え、活動の継続を支援します。

取組

地域活動発表会、活動団体交流会・意見交換会 等

取組紹介

地域の一人ひとりが主役です。「それいけ倶楽部!」

「地域で何か活動してみたい、自分のできることで地域の役に立てたら」と思っている人たちが、地域ケアプラザで勉強しながら、寸劇を通して地域活動を始めました。地域ケアプラザの脚本で「寝たきりまでの、あつという間の道のり!」「介護保険サービスの受け方」などを寸劇で誰にでもわかりやすく伝えていきます。地域の行事などで公演し、劇団員も観客もお互いの元気に繋がっています。



テーマ4

地域のつながり・交流の場づくり

これまで

昔と比べて地域のつながりが希薄化! いざというとき大丈夫?

少子高齢化や核家族化の進行により、一人暮らし高齢者の増加、子育て中の保護者が地域から孤立しているなどの問題が指摘されるようになってきました。

実際に、地域の中でも「隣近所の人を知らない」、「あいさつをする機会が減った」、「地域の行事への参加者が減少している」等、地域のつながりが希薄化していることを心配する声もあります。

地域の中では、高齢者、障害児・者、子ども、外国人など、生活の中で声かけや見守りを必要としている人もいます。

住み慣れた地域でみんなが安心して暮らすために、地域のつながりが求められています。



これから

日頃の声かけから! 顔の見える関係でお互いに支えあえるまち

災害時を含め地域の中で安心して暮らすためには、お互いに助け合うことができる関係が必要です。突然、「助け合いましょう」というのは難しいですが、何気ないあいさつや声かけ、様々な世代と一緒に活動できる身近な地域の交流の場を通して、「顔の見える関係づくり」を進めていきます。

～まちの将来像～

- 日頃のあいさつや声かけ、子どもから大人まで誰もが気軽に集える交流の場が充実し、地域の中で顔の見える関係づくりが進んでいるまち
- 日頃の声かけや交流の場が、地域の情報伝達の場となり、新たな活動や支援が必要な人への理解につながっているまち
- 日頃の自治会町内会の活動等、地域のつながりが、見守り活動や災害時要援護者対策等の取組につながっているまち



計画実現のためにめざす方向性は!

個人

- 日頃から隣近所とのあいさつや声かけなどを行きましょう。
- 回覧や自治会町内会の掲示板などに、関心を持ちましょう。

活動団体等

- 誰もが気軽に参加できる地域イベントや活動を行い、住民が顔見知りになり、お互いに関わり合いの持てる機会をつくります。
- 協働、共催での事業の実施など、つながりづくりを意識的に行います。

取組 季節ごとの行事、地域のお祭り等への参加、研修や講演会の開催 等

地域ケアプラザ等

- 誰もが気軽に立ち寄れる、地域の福祉保健活動の拠点として、ボランティア活動や地域活動を始めるきっかけをつくり、個人や団体の活動支援を行います。
- 個人や団体同士が顔の見える関係を築き、福祉保健活動を通じた交流ができるよう働きかけを行います。

取組 多世代交流事業、介護予防事業のサテライト化、利用団体の交流会 ケアプラ祭、各種講座の開催、地域活動団体との共催事業 等

区社会福祉協議会

- 福祉保健活動の拠点として、様々な活動情報を収集・提供し、活動団体同士の連携を支援します。
- 災害ボランティアネットワークと地域の防災活動の連携を進め、被災時の支援活動を円滑に進めるための体制づくりを進めます。

取組 ボランティアセンター運営、災害ボランティアネットワーク 等

区役所

- 区民の地域活動や施設・団体の活動の情報を入手しやすくし、区民同士・団体同士の交流のきっかけづくりを支援します。
- 地域の防災訓練や防犯活動、学援隊による見守りなど、地域住民による安全安心のまちづくり活動や見守り活動を支援します。

取組 地域福祉保健計画推進フォーラム、元気なまちの土台づくり事業、地域子どもの安全対策協議会、防犯寺子屋、区民活動支援センター・区民利用施設連絡会、防災・防犯活動への支援 等

取組紹介

野庭「ぶらっとランチ」

身近な場所で地域の人々が交流できたらとの思いから、野庭地域ケアプラザで月2回食事会を開催しています。幅広い年齢層のボランティアが調理し、旬の食材を取り入れた彩り豊かな料理をいただきます。また、定期的に開催しているため「いつも来ている人が来ていない」などの安否確認ができ、見守り活動につながっています。



テーマ5

健康づくり

これまで

従来の健康づくり活動に加え、各世代のニーズに応じた働きかけが必要

これまで、子どもから高齢者まで幅広い世代への健康維持・増進の普及啓発を行ってきました。しかし、地域の健康づくり活動の参加者や担い手は一部の人に限られており、今後は学齢期や若い世代、高齢者など、それぞれの年代の健康ニーズに応じた働きかけを進めていく必要があります。併せて食生活や運動習慣の改善、禁煙・分煙の推進など生活習慣を改善する取組も必要です。

また、病気や障害があっても心身の健康を意識し、人々がいきいきと生活できることが大切です。



これから

あらゆる世代の人々が、地域の仲間と共にいきいき活動できるまち

子どもから高齢者まで、一人ひとりの健康を守る意識を高めていきます。健康づくり活動を通して、仲間づくりや地域のつながりを深めていきます。

～まちの将来像～

- 健康について自ら考え行動し、更に家族や地域の仲間と共に健康維持・増進に取り組むまち
- あらゆる世代が参加し、健康づくり活動を進めるまち
- 地域の健康づくりに関わる団体が、つながり、協力しあい活動を進めるまち



計画実現のためにめざす方向性は!

個人

- 自らの健康について考え、正しい知識を持ち健康的な生活習慣を身につけましょう。
- それぞれの年代に応じた健康づくりに取り組みましょう。

活動団体等

- 保健活動推進員やヘルスマイトなど地域の健康づくりリーダーが健康づくりの普及・啓発を行い、各団体が協力して地域活動を進めます。身近な所でできる健康づくり活動を周知するなど、新たな参加者や協力者を増やします。

取組 食生活・運動等の教室、学校での食育、育児教室 等

地域ケアプラザ等

- 幅広い世代のニーズに合わせて働きかけるとともに、健康づくり活動者の育成・支援を行い、地域と協働で取り組みます。
- 保健活動推進員・ヘルスマイト等の活動者と様々な地域活動を結びつけ、新たな活動に発展するよう支援します。

取組 地域出前講座(子どもの食育、健康づくり・介護予防)、健康相談 等

区社会福祉協議会

- 定年退職後の方など、あらゆる世代の生きがいづくりの場として、ボランティア活動や地域活動を紹介します。また、相互に交流する場を提供します。

取組 ボランティアセンター運営、セカンドライフ大学校 等

区役所

- 各世代の健康ニーズを把握し、活動団体(保健活動推進員、ヘルスマイト等)と協働で健康づくり活動を進めます。
- より効果的な健康づくり活動につなげるため、活動団体が連携して取り組めるように活動を支援します。
- 子どものころから健康づくりの意識を育むよう、子育て中の保護者や児童を対象にした取組を行い、予防的効果を期待した活動を地域ぐるみで行います。

取組 健康づくりの講座、介護予防講座、出張健康相談、活動団体研修会、地域活動発表会 等

取組紹介

町ぐるみ健康づくり教室

健康づくりのための学習、体操・ウォーキングなど誰もが続けられる運動や体力測定などを行っているほか、地域のお祭りで活動を発表するなど広報活動に力を入れている団体もあります。保健活動推進員が中心となり、住民の自主的な活動として地域で開催しています。



笹下地区健康づくり教室の様子

テーマ6

地域で高齢者の支援

これまで

進む高齢化! 身近な地域での相談、助けあいができる関係づくりが必要

これまでも高齢者がいつまでも元気に暮らせるように、介護予防や認知症予防の取組を進めてきましたが、近年、一人暮らし高齢者、高齢者夫婦世帯がますます増加しています。このような状況の中で、支援を必要とする人が増加する傾向が今後更に強まり、支援を必要とするすべての人を、家族の介護や介護保険をはじめとした公的サービスだけで支えていくことは難しくなることも予想されます。

身近な地域の中で相談、助け合い、見守りができる体制をつくり、支援を必要とする人だけではなく、家族や支援者のための理解や支援を更に進めることが必要になっています。

また、日頃から、地域で行われている行事や活動に気軽に参加でき、いつまでもいきいきと暮らせる環境をつくっていくことも求められています。

介護保険の対象にならない人への支援はどうなっているの?

家族の支援だけでは限界があり、地域の力が必要



これから

一人ひとりがいきいきと住み慣れた地域で安心して暮らせるまち

高齢者の8割以上は、元気に活躍している人たちです。住み慣れた地域の中で一人ひとりがいきいきと暮らしていけるよう、介護予防の取組や趣味の活動、ボランティア、地域活動などの社会参加を支援していきます。

また、区役所、地域ケアプラザ、地域包括支援センターをはじめ、関係機関が連携し、支援が必要な人はもちろん、介護者や支援する人を支える取組も充実させていきます。

～まちの将来像～

- 趣味、ボランティア、地域活動などの社会参加を通し、高齢者が元気にいきいきと暮らせるまち
- 介護予防、認知症予防の取組や理解が進み、一人ひとりが健康的な生活を送ることができるまち
- 地域、関係機関、行政の連携が進み、身近な地域で要支援者とその家族が孤立することなく安心して生活できるまち

高齢者の今まで培った技術や知識を地域で発揮して欲しい



計画実現のためにめざす方向性は!

個人

- 身近な地域の健康教室や地域活動に参加し、地域の中で仲間づくりや交流を深めましょう。
- 介護予防、認知症予防の正しい情報を集め、取組を進めましょう。

活動団体等

- 身近な地域での活動を通して、高齢者と子どもや若い世代との交流を深める場を提供します。
- 関係団体、関係機関と連携し、身近な地域での見守り活動を進めます。

取組 サロン活動や給食会等による居場所づくり、勉強会、講演会の開催 等

地域ケアプラザ等

- 地域活動への参加を通して高齢者の引きこもり防止や介護予防が実現できるよう、地域活動や拠点づくりを支援します。
- サポートが必要な高齢者と介護者を早期発見・支援できるよう、地域福祉活動者とのネットワークづくりを進めます。

取組 介護予防・認知症予防講座、高齢者サロン、介護者のつどい、ボランティア活動の支援 等

区社会福祉協議会

- 権利擁護事業や成年後見制度の普及に努め、支援が必要な人の財産や権利を守り、安心して日常生活が送れるように支援します。
- 移送サービスの情報提供や体制づくりを進め外出の機会の拡大を図ります。

取組 あんしんセンター事業、移送サービス事業 等

区役所

- いつまでも地域で元気に暮らせるように、介護予防の取組や地域活動への参加を支援します。
- 認知症の正しい理解、権利擁護、成年後見制度の普及や虐待防止のための取組を関係機関と進め、高齢者や介護者が地域で安心して生活できるよう支援します。
- 一人暮らし高齢者などへの見守り活動を支援します。

取組 介護・認知症予防の支援者育成、講座等による正しい認知症の知識や介護予防の周知、地域活動や住民による見守り活動への支援、虐待予防の啓発 等

取組紹介

永谷・芹が谷「せりがや健康塾」

永谷地区・芹が谷地区の社会福祉協議会が合同で、介護予防ミニデイサービスを芹が谷町内会館で開催しています。港南区体育協会や、地域ケアプラザ職員による健康体操やゲーム、歌などで楽しみ、また、ヘルスマイトによる健康食の試食、健康講話など様々な人が関わり、活動を行っています。



テーマ7

地域で障害児・者の支援

これまで

地域で支え合う土壌や横のつながりを形成中!

港南区では障害の理解や地域における支えあいを目指し、地域ケアプラザや区社会福祉協議会等が障害児・者の居場所や交流の場づくりに取り組んでいます。

また、地域の福祉活動や障害者団体が行う運動会など、障害児・者が地域住民と共に参加できるイベントが催されてきました。

更に、障害者関係機関が中心となって災害時のみならず、日常生活の助けとなるマップ「ほっとまっぷこうなん」を作成するといった取組も行われています。

地域で生活する上で身体障害・知的障害・精神障害のある人たちは、様々な生活課題を抱えています。行政や関係機関が連携し、ライフステージごと、すなわち乳幼児期から学齢期、卒業後の進路や社会参加などで生じる課題に、地域と共にネットワークを広げながら取り組んでいくことが求められています。



これから

障害のあるなしに関わらず、地域で支えあうことができるまち

支援を必要とする個人とその家族が地域で安心して生活していける地域づくりを更に進めていきます。そのためには、普段からみんなが気にしあい・感じあうことができるようにする必要があります。

障害児・者の抱える課題は地域社会全体に関わる課題と捉え、地域でつながり、支えあえるようなまちづくりを進めていきます。

～まちの将来像～

- 同じ地域の生活者として一人ひとりの個性が理解されるまち
- お互いを認め合い、支えあえるまち
- 障害のあるなしに関わらず暮らしやすい地域づくりにみんなで取り組めるまち



計画実現のためにめざす方向性は!

個人

- 福祉保健活動への参加を通じて、障害についての理解を深めましょう。
- 支援が必要な人やその家族を地域で見守り助け合いましょう。

活動団体等

- 障害児・者の活動や行事に地域住民が参加し、運営にも携われるようにしていきます。
- 支援を必要とする人やその家族が抱える課題を支援ネットワークで共有し、課題の解決に向けて取り組みます。

取組 障害児・者の社会参加促進(地域参加、地域交流、自主製品の販路拡大)、ネットワークづくり 等

地域ケアプラザ等

- 障害の有無に関わらず地域住民の一員として、安心して生活できるよう、気軽に参加できる場・環境づくりを目指し、当事者や家族、学校、支援ネットワークとの日頃のコミュニケーションを図ります。

取組 障害児・者理解の促進、放課後や土曜日の余暇支援、居場所づくり 等

区社会福祉協議会

- 学齢障害児の余暇活動支援のメニューを拡大し、多くの個別ニーズの充足を図ります。
- 移送サービスの安全な運行体制づくりを進め、他団体の情報についても収集し、適切な情報提供により、障害のある人の社会参加を進めます。
- 障害者の就労について、広く区民の理解を進めるため、ふれあいショップを運営します。

取組 学齢障害児余暇支援事業(こうなんなつっこ)、移送サービス事業、ふれあいショップ 等

区役所

- 相談支援の充実に加え、関係機関との連携機能の強化、及び障害理解の促進を図るなど、障害児・者が地域で安心して暮らし続けられるように支援します。

取組 相談支援の充実、地域の支援者援助・育成(連絡会、講演会、講座、地域生活支援会議(地域自立支援協議会))、障害者理解の促進(講演会・講座)、港南台ひの特別支援学校はまっ子ふれあいスクール事業 等

取組紹介

港南台「ひまわり給食ボランティア」

地域のボランティアグループが、港南福祉ホームの障害者、職員のために昼食づくりを行っています。以前はお弁当持参だった利用者に、温かい食事と家庭の味を提供することで活動を支えようと始まり、10数グループが交代で活動しています。そのほか年1回全グループと港南台で各種ボランティアをしている方も一緒に、利用者が交流する給食ボランティアフェスティバルも開催しています。



テーマ8

地域で子育て支援・青少年育成

これまで

地域の人々が関わって、子どもを見守り育てあうことが難しくなっている

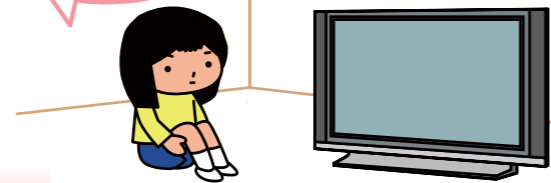
少子化や核家族化が進み、隣近所のつきあいが希薄になるなど、身近な地域で仲間と共に子どもを育てあう機会が減っています。こうした環境の変化によって、親子の心身の健康への影響が懸念されています。

また、孤立しがちな親子などが手助けを必要としているにもかかわらず、身近な人に相談しづらいなど、周囲の人に気付いてもらえない傾向があります。そのため、住民や地域ケアプラザ、行政等が連携した支援が必要となります。

地域では、子どもや青少年が季節行事や環境美化活動などに参加していますが、今後は更に学校などと連携しながら、学齢期の子どもや青少年が高齢者など様々な世代の人々と関わり、共に活動する機会を増やす必要があります。

子どもも大人も参加できる行事があると良い

近所に友だちや子どもがいなくて、閉じこもりがち...



これから

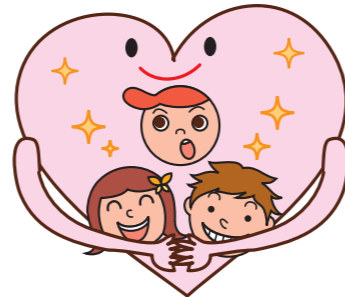
地域の人々がつながり、子どもや青少年を育てあえるまち

将来、私たちの地域を担う子どもや青少年を、あらゆる世代の人々が関わり育てていくまちとなるよう、隣近所の人や、民生委員・児童委員、主任児童委員、保健活動推進員、青少年指導員、ヘルスマイト、子育ての支援者、関係団体などが協力して子育て支援を進めます。

～まちの将来像～

- 子育てをきっかけに、身近な地域の人と交流し支えあえるまち
- 子育て中の人たちが、地域活動に参加・協力し、地域活動の推進につながるまち
- 子どもや青少年の見守り活動、居場所づくりを通し、地域全体で子育てを支えるまち

子どもは地域の宝！
地域のカで育てよう



計画実現のためにめざす方向性は!

個人

- 隣近所で声をかけあい、地域の中で親子を見守りましょう。
- 親子が集まれる拠点や交流の場に参加して、仲間と共に活動しましょう。

活動団体等

- 育児の初期から地域とつながるきっかけをつくり親子を見守ります。
- 公園遊びなど外遊びを地域ぐるみで支援します。
- 子育ての支援者や団体間で地域の課題を共有し解決するために取り組みます。

取組 赤ちゃん訪問、子育てサロン、公園遊び・プレイパーク、子育て連絡会 等

地域ケアプラザ等

- 子育ての担い手や関係機関と連携を図り、課題解決に向けて取り組みます。
- 地域のつながりを持ち、育児中に孤立しない環境づくりと、育児中ならではの地域活動ができるよう、地域参加を支援します。
- 民生委員・児童委員、主任児童委員、保健活動推進員、青少年指導員、ヘルスマイト、子育て支援者などの地域活動を支援します。

取組 子育てサロン、子育てサークル、世代間交流、育児相談 等

区社会福祉協議会

- 不登校・引きこもり連絡会で支援団体の調査や連携によるネットワークの拡大を図ります。
- 福祉教育連絡会に地域住民も参加できるよう進め、福祉教育プログラムの充実を図ります。

取組 不登校・引きこもり連絡会、福祉教育連絡会 等

区役所

- 子育てを保護者だけではなく地域の人々が関わりあって育てあえるよう支援します。
- 子育てを支援する関係者、団体、各機関が協働で活動できるよう連携を図ります。
- 子どもや青少年が地域で活動する場をつくるなど、学校・家庭・地域が一体となって、青少年の健全育成を図ります。

取組 両親教室、赤ちゃん教室、子育てサロン、保育園園庭開放、放課後児童の居場所づくり、こどもフォーラム、子ども・青少年向けイベント、活動団体・関係機関への協力支援 等

取組紹介

子育てサロン

身近な場所で気軽に親子がつどい、楽しく遊び、地域の中で育ち合うことができると、子育てサロンを開催しています。主任児童委員や民生委員・児童委員が中心となり、子育ての先輩が声かけや見守りを行い、保育士・保健師・栄養士などが専門的な相談に応じるなど、みんなで子育てを応援しています。最近では、参加するお母さん達が自然と運営を手伝ってくれるようになってきました。



下永谷地区わいわいサロンの様子